

## 浜の活力再生プラン

## 1 地域水産業再生委員会

組織名	宇検地区地域水産業再生委員会
代表者名	渡 立

再生委員会の構成員	宇検村漁業協同組合、宇検村
オブザーバー	鹿児島県大島支庁林務水産課

※再生委員会の規約及び推進体制の分かる資料を添付すること

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	宇検村 一本釣漁業（34名）網漁業（2名） 潜水器漁業（5名）素潜り漁業（2名） 合計 43名
-----------------------	--

※策定時点で対象となる漁業者数も記載すること

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>宇検村は、奄美本島の南西部に位置し、入り江が深く村域に大きく食い込んでおり、比較的穏やかな焼内湾が主な漁場となっている。宇検村漁業協同組合は平成27年3月現在、組合員116名（正組合員51名、准組合員65名）で水揚量8.9トン、水揚金額6,719千円である。漁業種類としては、一本釣漁業・潜水器漁業・素潜り漁業・小型定置網漁業・養殖漁業などが営まれている。</p> <p>養殖漁業においては、くろまぐろの生産量が多くを占め安定した経営が行われているが、その一方で漁船漁業の現状は、組合員の高齢化、担い手不足、資源の減少、魚価の低迷等さまざまな問題が山積している状況にあり、漁村地域の衰退が懸念されている。</p> <p>また、流通面では宇検村漁協に市場が無いとため、奄美市の名瀬漁協へ出荷するか村内に於いて浜売りするかしないため、コスト面や効率面で不利なため経営の安定化を阻害している。</p> <p>平成22年に宇検村が観光協会を設立し、農林水産物直売施設「うけん市場」を開設したことから、宇検村漁協も翌年に運営に参入し現在では、十数名の漁業者が商品を同施設に供給しており販売金額も平成23年の869千円から平成27年は4,742千円に増加しており、漁業経営を安定化させていくためには、この取組を助長していく必要があるが、鮮魚類の販売スペースが限られていることから供給者全員の商品を一度に販売出来ない等の問題がある。</p> <p>また、今後の課題としては、村内の需要を超える生産物に関して、奄美市内に安定して出荷できるように自治体、漁協、地域が一体となり出荷・販売体制を整えることが急務となっている。</p>
---

## (2) その他の関連する現状等

平成16年に漁協施設を移転し、製氷施設や購買施設を備えた漁協事務所を整備した。

平成17年度からは資源減少に歯止めをかけるべき事業として、離島漁業再生支援事業を利用しスジアラ、ヤコウガイ、シラヒゲウニの放流とシラヒゲウニの見入りアップ試験、イカ柴の投入、浮魚礁の設置に取り組んできた。

漁協購買部においては、冷凍ショーケースやマイナス60度の冷凍ストッカーを完備し組合員の鮮魚直売を支援している。また、宇検村漁業協同組合独自の取り決めによりマガキ貝の禁漁区域の設定と稚貝の採捕を禁止し、資源保護を図っている。

## 3 活性化の取組方針

### (1) 基本方針

#### 1 漁業収入の向上

##### ①魚価向上

うけん市場において集客力の向上を図り、販売施設の冷却設備を充実し村内消費量の増大を実現させることで、魚価を向上させる。

##### ②低末利用資源の活用

これまで販売していなかった低末利用資源を活用し新たな商品を開発し魚価に反映させる。

##### ③販路拡大

宇検村だけの販売には限界があることから、離島漁業再生支援交付金等を活用し、奄美市内に販路を確保する。

##### ④水産資源の増大

離島漁業再生支援交付金等を活用し、スジアラ等の放流やイカ柴投入を行い又、漁協で簡易型魚礁を設置し漁獲高の増大を図る。

##### ⑤新規就業者の積極的な受入と育成

新規漁業就業者総合支援事業を活用して新規就業者を積極的に受け入れて育成し、漁業を活性化する。

#### 2 漁業コストの削減

全漁船は船底清掃を行うとともに減速航行に努め燃油消費量の削減を図る。

### (2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

①鹿児島県漁業調整規則や奄美大島海区漁業調整委員会指示により、イセエビ・アサヒガニ・トコブシ・シラヒゲウニの禁漁期間及び体長制限を遵守し資源の維持安定を図っている。

②宇検村漁業協同組合独自の取り決めによりマガキ貝の禁漁区域の設定と稚貝の採捕を禁止し資源保護を図っている。

③南西諸島マチ類資源回復計画に参画し、マチ類資源の維持安定を図っている。

※プランの取組に関連する漁業調整規則や漁業調整委員会指示等について記載する。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成29年度）以下の取組により基準年対比1.9%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協はうけん市場において、更に売上を向上させる為に、販売スペースの拡大と冷凍冷蔵機器の充実を目指して関係者と協議を開始する。</li> <li>●漁協は宇検FMと連携してうけん市場の出品状況や入荷状況等をラジオ放送で告知出来ないか関係者と検討する。</li> <li>●漁業者は、小型定置網漁業を共同で導入出来ないか検討する。</li> <li>●引き続き、漁協と青年部が中心となってお魚祭りを開催し、宇検地区で低利用となっているミズン類やムロアジ等について魚食普及に努める。</li> </ul> <p>②低利用資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者はやけうち湾で漁獲が多いが低利用となっているミズン類やムロアジ類の加工品や総菜の試作を水産技術開発センターの指導を受けながら行う。</li> <li>●漁業者はタカセ貝類の加工品試作を検討する。</li> </ul> <p>③販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は地元だけの販売には限界があることから、離島漁業再生支援交付金を活用し、奄美市内での販路確保に向けて流通に関する調査を行う。</li> </ul> <p>④水産資源の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は資源の減少が懸念されているスジアラ、トコブシ等の放流を継続して行う。</li> <li>●漁業集落は離島漁業再生支援交付金を活用して、アオリイカ産卵場確保の為にイカ柴投入を継続して行う。</li> </ul> <p>⑤新規就業者の積極的な受入と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協は新規漁業就業者総合支援事業を活用して新規就業者を積極的に受け入れて育成し、漁業を活性化する。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全漁船の定期的な船底作業を行い、燃油消費量の削減を図る。</li> <li>●全漁船の減速航行により、燃油消費量の削減を図る。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●離島漁業再生支援交付金事業</li> <li>●浜の活力再生支援事業</li> <li>●地域振興推進事業</li> <li>●新規漁業就業者総合支援事業</li> </ul>

2年目（平成30年度）以下の取組により基準年対比7.2%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協と漁業者はこれまで、宇検村が立ち上げたうけん市場において漁獲物の販売をしてきたが更に売上を向上させる為に、漁協は商品が見やすく消費者が商品を取り出しやすい容量の大きい冷凍冷蔵機器を整備する。</li> <li>●漁協は宇検FMと連携してうけん市場の出品状況や入荷状況等のラジオ放送を開始する。</li> <li>●漁業者は、小型定置網漁業の導入に向け場所選択等の試験操業を実施する。</li> <li>●引き続き、漁協と青年部が中心となってお魚祭りを開催し、宇検地区で低利用となっているミズン類やムロアジ等について魚食普及と鮮魚や加工品の販売を開始する。</li> </ul> <p>②低利用資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者はやけうち湾で漁獲が多いが低利用となっているミズン類やムロアジ類の加工品や総菜のパッケージを作成しうけん市場等での販売に努める。</li> <li>●漁業者はタカセ貝類の加工品を試作する。</li> </ul> <p>③販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は地元だけの販売には限界があることから、離島漁業再生支援交付金を活用し奄美市内での販路確保に向け候補地を検討する。</li> </ul> <p>④水産資源の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は資源の減少が懸念されているスジアラ、トコブシ等の放流を継続して行う。</li> <li>●漁業集落は離島漁業再生支援交付金を活用して、アオリイカ産卵場確保の為にイカ柴投入を継続して行う。</li> </ul> <p>⑤新規就業者の積極的な受入と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協は新規漁業就業者総合支援事業を活用して新規就業者を積極的に受け入れて育成し、漁業を活性化する。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宇検村漁協横に完成した漁船メンテナンス用の上架施設を活用して、全漁船の定期的な船底作業を行い、燃油消費量の削減を図る。</li> <li>●全漁船の減速航行により、燃油消費量の削減を図る。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●離島漁業再生支援交付金事業</li> <li>●浜の活力再生支援事業</li> <li>●地域振興推進事業</li> <li>●新規漁業就業者総合支援事業</li> </ul>

3年目（平成31年度）以下の取組により基準年対比8.8%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協と漁業者はうけん市場において更に売上を向上させる為に、水産物販売スペースの商品紹介等を充実させ販売額の向上を図る。</li> <li>●漁協はうけん市場の出品状況や入荷状況等をラジオ放送にて消費者に定期的に告知することで販売額の向上を図る。</li> <li>●漁業者は、小型定置網漁業を導入し、漁獲量の増大を図る。</li> <li>●引き続き、漁協と青年部が中心となってお魚祭りを開催し、宇検地区で低利用となっているミズン類やムロアジ等について魚食普及と鮮魚や加工品の販売に努める。</li> </ul> <p>②低利用資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者と漁協はやけうち湾で漁獲が多いが低利用となっているミズン類やムロアジ類の安定した漁獲に努め、開発した加工品や総菜の販路拡大に取り組む。</li> <li>●漁業者はうけん市場においてミズン類やムロアジ類を紹介しながら鮮魚販売に努める。</li> <li>●漁業者はタカセ貝類の加工試作品を商品化し販売する。</li> </ul> <p>③販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は地元だけの販売には限界があることから、奄美市内にさらに販路を増やすとともに、奄美市内において直売施設の整備を検討する。</li> </ul> <p>④水産資源の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は資源の減少が懸念されているスジアラ、トコブシ等の放流を継続して行う。</li> <li>●漁業集落は離島漁業再生支援交付金を活用して、アオリイカ産卵場確保の為にイカ柴投入を継続して行う。</li> </ul> <p>⑤新規就業者の積極的な受入と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協は新規漁業就業者総合支援事業を活用して新規就業者を積極的に受け入れて育成し、漁業を活性化する。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上架施設を活用して全漁船の定期的な船底作業を行い、燃油消費量の削減を図る。</li> <li>●全漁船の減速航行により、燃油消費量の削減を図る。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●離島漁業再生支援交付金事業</li> <li>●地域振興推進事業</li> <li>●浜の活力再生交付金</li> <li>●新規漁業就業者総合支援事業</li> </ul>

4年目（平成32年度）以下の取組により基準年対比10.5%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協と漁業者はうけん市場の売上を伸ばすために共通化したパッケージを作成し、消費者の関心を引くことで収入の向上を図る。</li> <li>●宇検FMのラジオ放送を更に充実させ、宇検の旬の魚の紹介を行うことで、集客を図り販売額の向上を目指す。</li> <li>●漁業者は、小型定置網漁業を安定して操業することで漁獲量の向上を図る。</li> <li>●引き続き、漁協と青年部が中心となってお魚祭りを開催し、宇検地区で低利用となっているミズン類やムロアジ等について魚食普及と鮮魚や加工品の販売に努める。</li> </ul> <p>②低利用資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者と漁協はやけうち湾で漁獲が多いが低利用となっているミズン類やムロアジ類の安定した漁獲に努め、開発した加工品や総菜の販路拡大に取り組む。</li> <li>●漁業者はうけん市場においてミズン類やムロアジ類を紹介しながら鮮魚販売に努める。</li> <li>●漁業者はタカセ貝類の加工品の販路拡大に取り組む。</li> </ul> <p>③販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は地元だけの販売には限界があることから、奄美市内にさらに販路を増やすとともに、奄美市内において直売施設を整備する。</li> </ul> <p>④水産資源の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は資源の減少が懸念されているスジアラ、トコブシ等の放流を継続して行う。</li> <li>●漁業集落は離島漁業再生支援交付金を活用して、アオリイカ産卵場確保の為にイカ柴投入を継続して行う。</li> </ul> <p>⑤新規就業者の積極的な受入と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協は新規漁業就業者総合支援事業を活用して新規就業者を積極的に受け入れて育成し、漁業を活性化する。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上架施設を活用して全漁船の定期的な船底作業を行い、燃油消費量の削減を図る。</li> <li>●全漁船の減速航行により、燃油消費量の削減を図る。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●離島漁業再生支援交付金事業</li> <li>●地域振興推進事業</li> <li>●浜の活力再生交付金</li> <li>●新規漁業就業者総合支援事業</li> </ul>

5年目（平成33年度）以下の取組により基準年対比12.2%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協と漁業者はうけん市場の売上を安定化し集客を図るために、販売促進のイベント開催に取り組む。</li> <li>●宇検FMのラジオ放送を定着化させ、引き続き入荷状況や旬の魚の調理方法等に関しても消費者に情報提供していく。</li> <li>●引き続き、漁業者は小型定置網漁業を安定して操業することで漁獲量の向上を図る。</li> <li>●引き続き、漁協と青年部が中心となってお魚祭りを開催し、宇検地区で低利用となっているミズン類やムロアジ等について魚食普及と鮮魚や加工品の販売に努める。</li> </ul> <p>②低利用資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者と漁協はやけうち湾で漁獲が多いが低利用となっているミズン類やムロアジ類の安定した漁獲に努め、開発した加工品や総菜の販路拡大に取り組む。</li> <li>●漁業者はうけん市場においてミズン類やムロアジ類を紹介しながら鮮魚販売に努める。</li> <li>●漁業者はタカセ貝類の加工品の販路拡大を図る。</li> </ul> <p>③販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は地元だけの販売には限界があることから、奄美市内の取引先に安定して出荷すると共に整備した直売施設における販売を開始する。</li> </ul> <p>④水産資源の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業集落は資源の減少が懸念されているスジアラ、トコブシ等の放流を継続して行う。</li> <li>●漁業集落は離島漁業再生支援交付金を活用して、アオリイカ産卵場確保の為にイカ柴投入を継続して行う。</li> </ul> <p>⑤新規就業者の積極的な受入と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁協は新規漁業就業者総合支援事業を活用して新規就業者を積極的に受け入れて育成し、漁業を活性化する。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上架施設を活用して全漁船の定期的な船底作業を行い、燃油消費量の削減を図る。</li> <li>●全漁船の減速航行により、燃油消費量の削減を図る。</li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●離島漁業再生支援交付金事業</li> <li>●地域振興推進事業</li> <li>●浜の活力再生交付金</li> <li>●新規漁業就業者総合支援事業</li> </ul>

(4) 関係機関との連携

○鹿児島県水産技術開発センター 加工品開発について技術指導を受ける。
○宇検村観光協会 観光漁業推進に係る広報活動を連携して行う。
○奄美FM宇検支局 イベントの広報や番組作成に係る活動を連携して行う。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上	%以上	基準年	平成 年度：	漁業所得	千円
		目標年	平成 年度：	漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

※算出の根拠及びその方法等について詳細に記載し、必要があれば資料を添付すること。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
離島漁業再生支援交付金事業	販路の拡大と観光漁業の推進や魚食普及のイベント等の開催、加工品開発等により魚価向上及び需要拡大を図る。
浜の活力再生交付金	浜プランの見直しや直売施設の整備を行う。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	省エネ機関に換装することで燃油消費量の削減を図る。
地域振興推進事業	直販事業の拡大に活用し、魚価の向上を図る。
浜の活力再生支援事業（県単）	・直売施設に対する共同出荷の取組や機器整備を支援する。 ・定置網の導入や共同操業を支援する。
新規漁業就業者総合支援事業	新規就業希望者を漁業現場で受け入れ、実地による長期研修を行う。

※関連事業には、活用を予定している国（水産庁以外を含む）、地方公共団体等の補助金・基金等を記載。ただし、本欄への記載をもって、事業の活用を確約するものではない。

※具体的な事業名が記載できない場合は、「事業名」は「未定」とし、「事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性」のみ記載する。